宝生能楽堂　開場四十周年記念

宝生会　秋の別会能　第一部

令和元年十月二十七日（日）
開演　十一時
開場　十時
於　宝生能楽堂

11:00

一調　**山姥**

古屋　山内　崇生
鬼王　辰巳満次郎
団三郎　藤井　雅之
五郎丸　金森　良充
立衆　東川　尚史
立衆　亀井　雄二
十郎　金井　雄資
五郎　朝倉　俊樹

田崎　隆三

太鼓　三島元太郎

11:10

夜討曽我

大藤内　間　善竹　十郎
〃　善竹大二郎

大鼓　安福　光雄
小鼓　鵜澤洋太郎

笛　寺井　義明

後見　佐野　由於
和久荘太郎

地謡　辰巳大二郎
當山　淳司
高橋　憲正
水上　優
野月　聡
宝生　和英
武田　孝史
大友　順

12:15

腰祈

大藏彌右衛門

大藏　基誠
大藏吉次郎

〈休憩十五分〉

12:50

松風

村雨　佐野　登
シテ　大坪喜美雄

ワキ　高井　松男

ツレ　返・見留　間　大藏彌太郎

大鼓　國川　純
小鼓　曽和　正博

笛　一噌　庸二

後見　登坂　武雄
藪　克徳

地謡　金森　隆晋
内藤　飛能
佐野　玄宜
小倉健太郎
金森　秀祥
高橋　章
當山　孝道
東川　光夫

終演予定　十四時五十分頃

演目の解説

能「夜討曽我」（ようちそが）

曽我十郎、五郎兄弟は頼朝が招集した富士の巻狩に、父の仇工藤祐経を討つため参加します。五郎の提案で夜討につかけることを決めた二人でしたが、故郷を出ることを母に何も言わずに来たことを思い出し、従者の団三郎と鬼王にと形見を持たせて故郷へ返そうとします。兄弟に殉じようと思う二人は納得せず、自害しようとまでします。それを五郎が押しとどめ、遂にこの説得さ従者は故郷へ帰り、後を見送った兄弟はその夜討ちを掛けついに仇を討ちますが、十郎は討たれ、五郎も格闘の末、生け捕られてしまいます。

狂言「腰祈」（こしいのり）

永年の修行を済ませ帰郷する山伏は、久々に祖父（おおじ）のもとを訪れます。祖父は、立派になった山伏の姿に喜びます。久しぶりに再開したものすっかり腰が曲がってしまった祖父を見て山伏は、修行の成果にと祖父の腰を元に戻そうと祈りはじめますが…

能「鞍馬天狗」（くらまてんぐ）

鞍馬寺に花見に赴いた山伏は、同じく花見に訪れた稚児達と牛若と東谷の僧の一行に出会います。宴に乱入した山伏を嫌って僧達と稚児は帰りますが、牛若は留まり山伏と言葉を交わします。山伏は自分が大天狗であることを明かし、源氏の世を再興するため牛若に力を貸そうと約束して去っていく牛若です。牛若が支度をして待っていると、大天狗が現れ、張良が黄石公から兵法を授かった故事をかたり、平家討伐の戦場で必ず力添えをすることを約束して去ります。

次回予告
春の別会能
三月二十二日（日）
十二時始

鷺　小倉　敏克
隅田川　當山　孝道
道成寺　辰巳大二郎

文化庁文化芸術振興費補助金
（舞台芸術創造活動活性化事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会